



三多気のサクラ

春、各地の桜の名所は多くの人でにぎわっていることだろう。市内も
 広明町の偕楽公園や白山町の亀ヶ広



桜並木など、さまざまと
 ころがあるが、中でも国の
 名勝として指定されている
 三多気のサクラの桜並木は
 よく知られている。

この桜並木は、旧伊勢本
 街道から真福院へ至る参
 道、およそ1.5キロメー
 トルに植えられたもので、
 その数は400本程になる。
 主に山桜を中心とするもの

の、いくつかの種類の花があり、種
 類ごとに微妙な差ができて、ソメイ
 ヨシノを中心とする桜の名所と比べ
 て、長期にわたって花見ができるの
 が特色である。

真福院は真言宗のお寺で、一説に
 は、約1,100年前に京都の醍醐寺を
 開き、修験道中興の祖として大峯や
 吉野に関わりの深い理源大師が開い
 たとされる。

桜は、その理源大師が植樹したの
 が始まりといわれ、特に伊勢国司初



三多気のサクラ

代北畠顕能は、一族の祈願所と定め
 て、上多気の北畠氏館から飼坂を越
 えて真福院山門まで、8キロメー
 トルあまりの旧伊勢本街道沿道に桜を
 植えたといわれている。

桜の開花時には、細い参道沿いの
 山桜が咲きそろって美しい花のトン
 ネルができあがり、周辺の棚田との
 景観も合わさって素晴らしい景色が
 広がる。旧街道の散策もしながら、
 一日過ごしてはいかがだろう。

(「広報津」平成18年4月1日号)